



臨時号

発行●グリーンコープ生協ふくおか 理事会
編集●広報委員会
福岡市博多区博多駅前1-5-1博多大博通ビルディング3F
TEL○092-482-7770（代）
ホームページ●<http://www.greencoop.or.jp/>



6/10 第二十二期 通常総代会報告

開会あいさつ 「私たちに」

何ができるかを考え、行動を繋げていく



▲あいさつをする
大坪地域理事長

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

二口ナ禍も3年目を迎える生活様式がそれ以前と比べて大きく様変わ

指の消毒、などがすっかり日常となりました。そうした中、グリーンインが選べ、なるべく安心できる環境で活動を続け、運動を前進させてきました。

そして皆さんも心を痛めていらっしゃることでしょう、ロシアのウクライナ侵攻というおよそ21世紀の出来事とは思えない蛮行。これには目を覆い耳をふさぎたくなる日々です。グリーンコープは平和をもつとも大切にしています。ウクライナの私たちと同じ生活者である現地の市民から情報提供により、恐怖や悲しみなどがとても身近に思えます。そして、一度始まってしまった戦争が終わらないという、過酷な現実に向かうことがとてもつらいです。

グリーンコープにある「不戦決議には、戦わないためにどうしたら良いかが記されています。完全な情報公開、徹底的な話し合い、機敏で責任ある対応、これらを貫いたならば恐ろしい戦争も回避できるのだろうな、と連日の報道を見るたびにつづく考えます。

簡単ですがこれをもつて開会のあいさつとさせていただきます。

など紙のリサイクルと多くの組合員の願いを現実のものにしてきました。脱原発そして持続可能なエネルギーとしてグリーンコープでんきを立ち上げました。

本格的な夏を前に猛暑や豪雨が心配になります。日本人の40%に近いなんと4700万人も的人が浸水リスク想定域に住んでいるそうです。地球温暖化、年を追うごとに厳しくなる酷暑、自然災害、と命を脅かす地球規模の環境の悪化は、今すぐに手をうたなければならぬ問題と誰もが思つてゐることでしょう。

2018年「第二次夢ヲかたちに」を起草し、2021年度はその夢を叶えるため「夢ヲかたちに理会」を進めてきました。自分が暮らす地域を見つめ、そこに何があればもっと住みやすくなるか、そのためには何ができるかを考え、地域に

コロナ禍で私たちの暮らしは大きく変化しました。また、100年に1度と言われるような自然災害が頻発しています。グリーンコープの生産者も昨年と同じことが通用しない、長年の経験が役に立たないところが多かったです。

2050年には福岡県でも数日間40度を超える夏がやってくると言われています。今私達がこの危機感をたくさんの人々と共有し、それを止める行動、運動を実践していかなければ、未来の子ども達に大きなツケを回すことになることは明白です。

遺伝子組み換え、ゲノム編集、環境破壊、放射能汚染など課題はたくさんありますが、喫緊に迫つた地球温暖化、異常気象をこれ以上進めないために、一人ひとりができる事を考え、行動に移しながら、「2027カーボンニュートラルの実現」を、皆さんと共に目指していきたいと思います。

皆様に集まつて頂き、討議する場を設ける事ができましたことを嬉しく感じています。会場に足を運ぶことが不安な総代の皆様、オブザーバー参加の皆様には昨年同様オンラインで配信することができます。

今年度もしつかり報告をさせていただきます。

そして、事前に頂いたご意見、また総代会後に届くご意見は理事会でしつかり討議し皆様へお返事をさせていただきます。なかなか収束が見えない不便な状況ではあります、組合員主権を貫く方法をこれからも模索していきます。

とつて必要な夢を実現する為に4つの地域理事会が検討を進めています。夢を叶えるためには人と資金が必要です。組合員が増えることが、担い手を生み出しやすくなり資金を増やす事にも繋がります。仲間を増やし一つひとつ夢を叶え、地域を豊かにしていきましょう。

ふくおかでは、「地域生協化」が名実ともに確立されてきています。北九州地域、中部地域、福岡地域、南地域それが地域理事長・地域理事会を中心にとっても主体的に地域性豊かに検討されています。伴つて支部も主体性をより發揮しています。地域（地元）からの意見も多く届くようになつきました。話し合う事、人の意見を聴く事、みんなの総意で決める事を大切にしながら、豊かな意見交換が行われています。今年度も更に地域生協化を進めていきま

「組合員に絶対に供給し続ける」「利用者を守り抜く」の想いで自身や家族の心配をしつつ、現場を守り抜いてくださっています。組合員の皆様からもグリーンコーポの存在がありがたいとの声が届いています。ワーカーズ、職員の皆様に心から感謝と尊敬の想いをお伝えしたいと思います。本当にありがとうございます。

グリーンコーポはワーカーズ型生協へと歩を進めています。ワーカーズとは自らを生かしながら、「助け合い、支えあう」地域を創る働き方です。総代の皆様には働く場としてワーカーズを選んでくださることを心からお願いします。

食べもの運動を大切にしながら豊かな地域創りを目指して、グリーンコーブ生協ふくおか理事会と会福祉法人グリーンコーブ福岡理事会の両輪で話し合いを進めています。

組合員の皆さまの声を大切にする理事会運営を今年度も行っています。

皆様どうぞよろしくお願ひします。

組合員主権を貫く方法を
これからも模索していきます



▲板本理事長

とつて必要な夢を実現する為に4つの地域理事会が検討を進めて います。夢を叶えるためには人と資金が必要です。組合員が増えることが、担い手を生み出しやすくなり資金を増やす事にも繋がります。仲間を増やし一つひとつ夢を叶え、地域を豊かにしていきましょう。



▲会場をオンラインで中継しました

本日はありがとうございました。
(中部地域理事長 中村 晶子)

最後になりましたが、本日この会場に、また画面越しに一堂に会したみなさま、一緒に活動する、同じ思いを持つ仲間を大切に、今年度もしなやかに、健やかに、いきいきと進んでいきましょう。

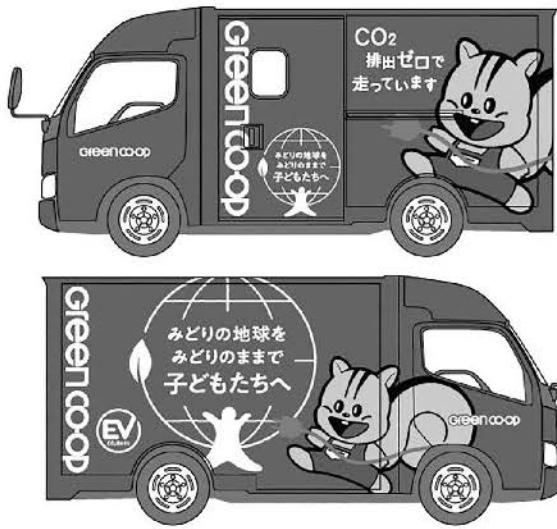
久しぶりの対面の会場で活発に意見交換もできました。貴重なご意見も頂きました。今一度私たちの暮らしを見直し、私たち一人ひとりにできること、みんなで大きく連帯してできること、これまで同様今後もしっかりと考えていけたらと思います。

みなさま、本日はおつかれさまでした。コロナ禍が長引く中、職員、ワーカーズ、組合員みんなが一丸となつて頑張った2021年度を振り返ることができました。そしてグリーンコープの事業や運動、私たちを取り巻く地域の暮らしがさらに豊かになつていくよう今年度の方針もしかり確認することができました。



▲中村中部地域理事長

私たちを取り巻く
地域の暮らしが
さらに豊かに
なっていくように



EVトラック、走ります!!

●小倉北支部 ●中遠支部
●福岡西支部 ●久留米支部

まずは4支部から、順次納車予定です!!



▲議長を務められた
小倉南支部 下垣内 彩子さん(左)
福岡東支部 山本 紘美さん(右)



▲会場の様子

議案と採決結果

議 案	
第一号議案：2021年度活動報告承認の件	賛成多数により可決承認 保留3・反対0
第二号議案：2021年度決算報告承認の件	賛成多数により可決承認 保留3・反対0
第三号議案：2022年度活動方針決定の件	賛成多数により可決承認 保留7・反対2
第四号議案：2022年度予算決定の件	賛成多数により可決承認 保留6・反対0

総代定数393名 有効票数389票(委任状を含む出席84名 書面議決書305名)

議 案	
第五号議案：常勤役員退職金支給の件	賛成多数により可決承認 保留4・反対1
第六号議案：総代選挙規約改定の件	賛成多数により可決承認 保留2・反対0
第七号議案：議案決議効力発生の件	賛成多数により可決承認 保留4・反対0
第八号議案：役員並びに選挙人補充の件	賛成多数により可決承認 保留1・反対0

※議長2名は採決の数に含まれていません。

〈21年度決算と22年度予算〉

- (一) 総供給高286億4,140万円で予算比103.0%(+8億3,538万円)と予算を上回りましたが、前年比は98.0%(Δ 5億6,988万円)となりました。年間2万人の組合員拡大にはあと少し及びませんでしたが、組合員の登録人数が増えたことに伴って注文書の回収が予算を上回ったこと、一人当たり利用単価が予算を上回ったことにより、供給予算を達成することができました。
- (二) 事業総剰余金は81億3,574万円(予算比104.5%)となりました。事業経費合計は、75億8,579万円(予算比97.6%)、予算を1億8,352万円下回りました。
- (三) 事業外収支等5,329万円を受け入れ、税引前剰余金は6億324万円の黒字となりました。昨年総代会で議決いただいた予算(5,890万円)を5億4,434万円超過しました。
事業別には共同購入が5億7,779万円(生活再生支援事業費用5,904万円を負担)、お店共同購入2,545万円、生活再生支援支ゼロ(共同購入事業が5,904万円を負担)です。
- (四) 法人税等1,430万円の計上を行い、当期剰余金は5億8,894万円です。
- (五) 当期首繰越損失金 Δ 3億9,960万円から処理を行い、当期末剰余金を1億8,934万円とします。

	'21年実績	予算比	予算差	'22年予算	前年比
供給高	28,641,399	103.0	835,380	29,123,698	101.70%
供給余剰	7,673,705	104.1	300,519	7,721,854	100.60%
受取手数料	308,346	119.9	51,103	325,752	105.60%
共済手数料	149,145	99.4	-834	149,146	100.00%
その他手数料	4,541	85.0	-799	4,200	92.5%
事業総剰余	8,135,738	104.5	349,990	8,200,952	100.80%
人件費	1,782,367	98.6	-26,152	1,752,400	98.30%
物件費	5,803,427	97.4	-157,369	6,175,676	106.40%
経費合計	7,585,794	97.6	-183,521	7,928,076	104.50%
事業剰余	549,943	3346.6	533,510	272,876	49.60%
事業外収入	75,128	80.6	-18,060	93,224	124.10%
事業外費用	21,836	3028.5	21,115	21,836	100.00%
経常剰余	603,236	553.9	494,336	344,264	57.10%
特別損益	0	0.0	0	0	0.00%
税引前剰余	603,236	1024.2	544,336	344,264	57.10%
法人税等	14,297				
税引後剰余	588,939				